

第32回柳原銀行記念資料館特別展

2020年10月1日(木)～10月31日(土)

午前10時～午後4時半[月・火・祝 休館]

展示替休館日 9月26日(土)、27日(日)、30日(水)

11月1日(日)、4日(水)、5日(木)

さよなら 崇仁小学校 2
伊東茂光から受け継がれしもの

伊東茂光

昭和十四年

記念シンポジウム

2020年10月17日(土) 午後2時～4時30分(開場 午後1時30分)

場所：下京いきいき市民活動センター 3階 集会室

定員：当日先着30名(*新型コロナウイルス感染防止のため会場定員の半数とします)

- 「伊東茂光先生をしのぶ～生誕100年を記念して～」ビデオ上映(30分)
- 南弘と前田ツネ ビデオ上映(各5分程度)～「崇仁小学校創立110周年記念式」より
- 講演：竹口 等(京都文教大学名誉教授)、走井徳彦(元崇仁小学校校長)
- 質疑応答

司会進行：山内政夫(柳原銀行記念資料館運営委員会事務局長/世界人権問題研究センター嘱託研究員)



- 1 崇仁小学校運動部の6年生の選手たち。伊東茂光の後ろが南弘(昭和12年秋)
- 2 昭和10年代、伊東茂光は年頭の言葉を毎年大きく揮毫した。図は昭和14年の「必死猛進」
- 3 4年生以上の全校生徒による息の合った合同体操は、見学に来た人々を感動させた。
- 4 伊東茂光と崇仁小学校教員たち(昭和11年)。詰の襟学生服が教員の制服だった。前列右から4番目が南弘、最後列右端が前田ツネ



柳原銀行記念資料館

The Bank of Yanagihara Memorial Museum

京都市下京区下之町 6-3 <http://suujin.org/yanagihara/>

主催：京都市・柳原銀行記念資料館運営委員会



京都市



さよなら崇仁小学校2 伊東茂光から受け継がれしもの

当館において昨年開催した特別展「さよなら崇仁小学校」君は伊東茂光の声を聴いたか」では、太平洋戦争時に録音された元崇仁小学校校長伊東茂光の肉声を、一九三三（昭和7）年の崇仁小学校運動会の映画フィルムに乗せて公開しました。伊東の熱意の声が収録されたレコードは、彼の親族や地元の方も驚かれる貴重な資料であり、かつての教え子から懐かしむ声も寄せられました。

第二次世界大戦（一九四一年～一九四五年）において、日本は連合国の一員としてシベリア出兵を行います。この出兵に伴う米の需要増を見越して米の買い占めが行われ、米価が急激に上昇したといわれており、一九一八（大正7）年7月には富山県で米騒動が起きます。これは、8月になると崇仁地区でも広がり、当時の荒々しい騒動の様子は、「崇仁小学校日誌」に描かれています。当時は教育現場も荒廃し、一時期は崇仁小学校の校長のなり手がなくなりました。その後、崇仁地区で活躍した柳原銀行初代頭取の明石民蔵が死去した一九二〇（大正9）年、京都大学図書館に勤めていた伊東茂光が、崇仁小学校の第11代校長に就任します。これにより、明石を中心とした自主的改善運動の時代から、同校をコミュニティの中心とする時代へと移ることになります。

第二次世界大戦後、伊東は子どもたちを戦争に送ったことを悔いて教職を辞しますが、27年にわたる崇仁小学校での教育の実践は、教育界に伊東の意志を受け継ぐ多くの後輩を送ることになり、「同和教育の源流」と評されています。

今回の特別展では、崇仁地区への京都市立芸術大学の移転に伴い、元崇仁小学校の校舎の解体が始まることを受け、当館が長年にわたり収集してきた同小学校にまつわる資料を展示します。

また、シンポジウムでは、崇仁小学校創立二〇周年記念式典（一九八三（昭和58）年）の記録映像の上映や、伊東茂光の後輩に当たる崇仁小学校の元教員の方々に講師としてお招きする企画としました。この映像に登場する南弘先生は、伊東校長のそばで「崇仁教育」を共につくり上げた方、また、前田ツネ先生は伊東校長に育てられた方です。

この特別展を通して、崇仁小学校が地区にもたらした輝かしい歴史と遺産を、崇仁地区やその周辺地域をはじめ多くの市民の皆様、移転してくる京都市立芸術大学の皆様と共有し、差別を許さない人権文化の息づくまちづくりにかかっていると考えています。

最後に、本特別展の開催に当たり、貴重な資料を提供していただいた多くの皆様、資料の修復に当たり高度な技術を提供していただいた京都市立芸術大学の研究者の皆様をはじめ、御支援いただきました関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。



教員たちを慰労するための高雄山ハイキングにて。左端和服姿が伊東茂光。1932（昭和7）年

柳原銀行記念資料館

開館時間10:00 - 16:30 [月・火・祝休館]
入館無料 TEL&FAX 075-371-0295

JRおよび地下鉄「京都」駅から徒歩約8分
京阪「七条」駅から徒歩約10分
市バス「堀小路高倉」下車すぐ

同じです あなたとわたしの 大切さ
令和2年9月発行
京都市文化市民局共生社会推進室
京都市印刷物 第024279号



裏門近くに土俵がつくられ、相撲大会も行われた。1939（昭和14）年



日本女子オリンピック大会で連覇した5名の女生徒たちと。1934（昭和9）年